

平成 23 年 6 月 16 日

DARAZ コミュニティ放送 第四回番組審議会議事録

株式会社DARAZ コミュニティ放送

1. 開催年月日 平成 23 年 6 月 16 日 (木) 16:00～17:00

2. 場所 鳥取県米子市法勝寺町 70 番地
DARAZ CREATE BOX 2 階会議室

3. 出席状況 総委員数 10 名
出席委員数 6 名
欠席委員数 4 名
出席委員の氏名 本城祐子 委員長
永井伸和 委員
加川一美 委員
大原啓道 委員
早原彰子 委員
石賀治彦 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 富田寛
番組制作業務部長 永富久之
経営企画室長 遠藤彰

4. 議題

○ 番組についての審議

5. 審議の内容

① 番組についての主な意見

○ こーちけのアニダラ 金曜日 21:30～22:00
パーソナリティー こーちけ

<石賀委員>

- ◇ 自分にとっては懐かしい番組である
- ◇ トークより、なるべく多くの曲を聴きたい
- ◇ 世代が違ふとどう感じられるのか分からない

<早原委員>

- ◇ ついていけない感じ
- ◇ やっている人は楽しそうだが、初めて聞く人は分からない

<大原委員>

- ◇ 若い世代に表現力の低下がある
- ◇ 聞き手の立場を考えた話し方が求められる
- ◇ 特に、公共の電波を通じて伝える場合は、双方向のコミュニケーションを心がけることが重要である

<加川委員>

- ◇ 音楽と出会うのは映画や商品などのタイアップになって知ることが多い

<本城委員>

- ◇ 趣味の世界の番組でありターゲットが絞られる
- ◇ アニカル祭りが分からない人が多くいるのでしっかり伝えても良い

<永井委員>

- ◇ 絞られた世界の中で、彼らの言葉で語られている
- ◇ アニメカルチャーは、少数の人たちの物ではなく普遍的な可能性を秘めており、多くの人の共感されるような伝え方が必要である
- ◇ その様な観点から伝える側が配慮する必要がある
- ◇ 文化としてアニメを捉えていくような方向性も必要である

○ RADIO GS 2011 金曜日 14:00~14:30

パーソナリティー GSナオ、ガイナーレ鳥取サポーター

<永井委員>

- ◇ 応援団の思いで構成されている番組であり、思いが伝わってくる
- ◇ 各回が単発ではなくストーリー性のある番組構成が望まれる
- ◇ スポーツ文化、アニメ文化など文化を育てることは、大変難しい
- ◇ これら番組を通じて、地域に根付いた文化に育てて欲しい

<大原委員>

- ◇ 市民の皆様が自発的に地域スポーツクラブを応援するということは、画期的なことである
- ◇ ガイナーレ鳥取を応援するこの番組が是非持続するようにお願いしたい

<早原委員>

- ◇ 暑さが伝わってくる
- ◇ 家族でスタジアムに行っても、楽しめることが伝わってくる
- ◇ みんなよそ行きの言葉で話している・・米子の人ではないような感じ
- ◇ 可能性のある番組であり、続けていって欲しい

<加川委員>

- ◇ ガイナーレ鳥取のファンなので時間が合えば聞きたいのだが、この時間帯では聞けない

<本城委員>

- ◇ 山陰にあるプロスポーツチームの応援番組が全てあることが素晴らしい
- ◇ スタッフで盛り上がってしまい、リスナーには伝わってこない

<石賀委員>

- ◇ 居酒屋で盛り上がっているグループの横で、カウンターで酒を飲んでいる感じ・・・ついていけない
- ◇ リスナーに対して伝える努力をして欲しい
- ◇ 語りのリズムなどを考えて、聞き易い番組づくりを心がけて欲しい

6. 審議機関の答申、または改善意見に対してとった措置

- ◆ 素人集団での番組づくりの良さを残しつつも、リスナーに共感していただけるような番組づくりを心がける
- ◆ 番組の再放送などの情報を提供する

7. 審議機関の答申、または意見の概要公表

事務所に備え置き 平成 23 年 6 月 25 日

ホームページに掲示 平成 23 年 6 月 27 日

8. その他の参考事項

特になし